

## 生命（いのち）の安全教育【小学校（高学年）】 動画教材活用の手引き

### 動画の狙い

「生命（いのち）の安全教育」教材と指導の手引きの内容を踏まえ、授業等において、教員等が生徒たちに効果的に「生命（いのち）の安全教育」を指導することができ、かつ、子供たちの理解を深めることを目的として作成したものであり、動画教材を活用して授業等を行う際は、事前に「生命（いのち）の安全教育」教材と指導の手引きを参照するなど準備した上で授業を行うこと。

### 動画教材の概要

小学校（高学年）向け動画教材は4つの場面に分かれており、全体を通して動画を視聴させるほか、場面ごとに分けて視聴させることができる。

- **自分だけの大切なところを知る**⇒01：02～
- **自分とほかの人を守るためのルール**⇒02：11～
- **自分とほかの人との距離感が守られないときの対応方法**⇒03：42～
- **SNSを使うときに気をつけること**⇒07：30～

### 指導のポイント

#### ●自分だけの大切なところを知る

- ・自分の体全てが大切なところであると伝える。同時に他の人の体も大切であることも伝える。
- ・動画視聴後、特に水着で隠れているところは大切であり、見せたり、触らせたりしてはいけない。他の人の大切なところも、見たり、触ったりしてはいけないことを理解させる。

#### ●自分とほかの人を守るためのルール

- ・自分がされて嫌なことは、他の人にもしないことを理解させる。
- ・友だちが言わなくても、本当は嫌だと思っていることもあるかもしれないことを理解させる。  
【ワーク例】自分や友だちの体や心を傷つけるような行為はどのようなことか考えさせる。  
【ワーク例】自分や他の人の体や心を守るためのルールを考え、発表させる。

#### ●自分とほかの人との距離感が守られないときの対応方法

- ・「体の距離感」とは、自分の体は自分だけのものだから、他の人との距離感は自分で決めていいことを理解させる。
- ・親しくても、近すぎて嫌だなと思うときは、すぐに離れてよいこと、友だちが触られるのを嫌がったらすぐやめることが大切なことを理解させる。
- ・「心の距離感」とは、自分の気持ちや考え方は自分のものだから、どんな気持ちをもって、どんな考え方をするかは自分で決めていいということを理解させる。  
【ワーク例】友だちに誘われて遊びたくない時どうするか？友だちを誘って断られた時どう思うか？断れなさそうな友だちがいたらどうするか？を考え、発表させる。
- ・距離感が守られない時は、「いやだ」「やめて」「だめ」と言っていること、そしてその場を離れ、安心できる大人に相談することを伝える。

#### ●SNSを使う時に気をつけること

- ・やりとりしている相手が本当に信頼できる人かどうか、考えることが大切であることをこの動画を通して伝える。  
【ワーク例】SNSでこわい思いをしそうになった時はどうしたらよいか考える。
- ・こわい思いをしそうになった時は「いやだ」と相手に言う、そしてその場を離れる。安心できる大人に相談する。写真を送ってしまったら、すぐに安心できる大人に相談することを伝える。